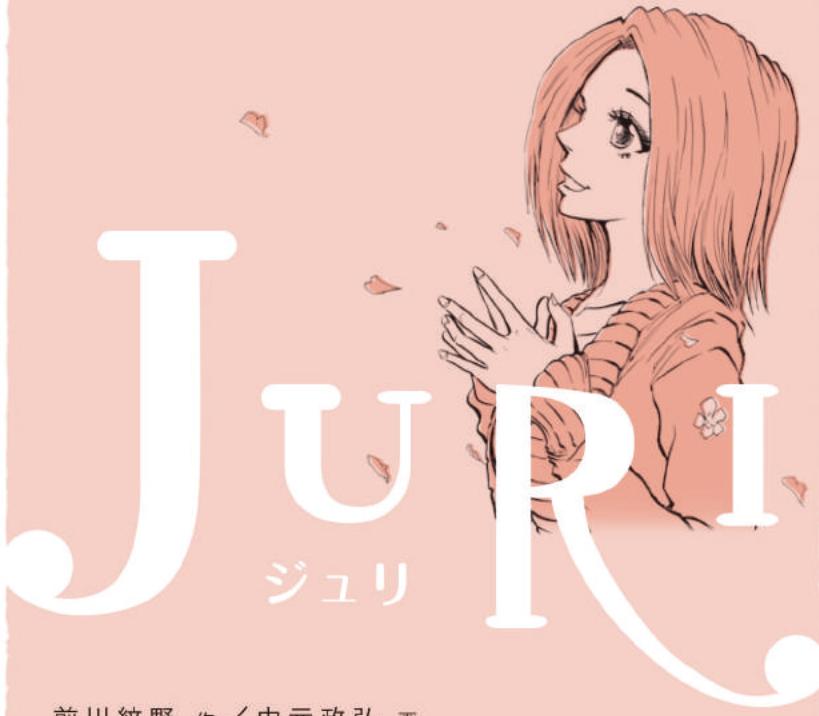
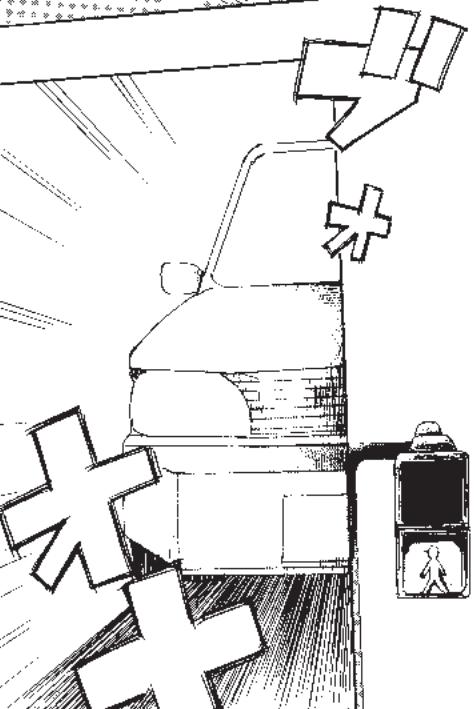
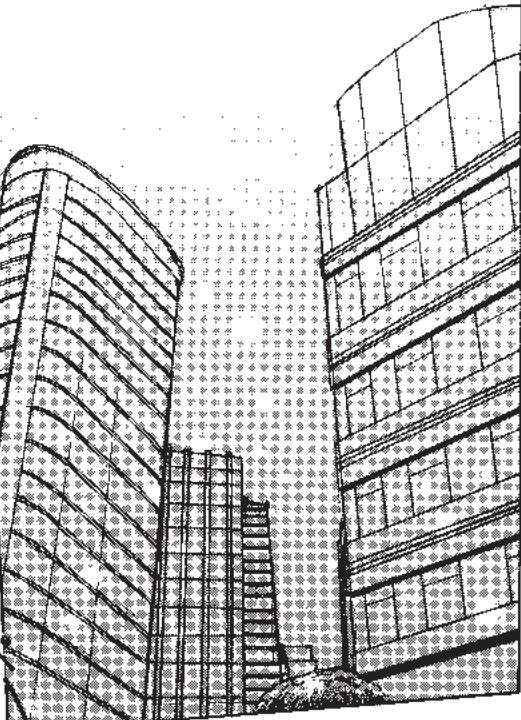


京都精華大学
障がい学生支援室
Office for Students
with Disabilities
Kyoto Seika University

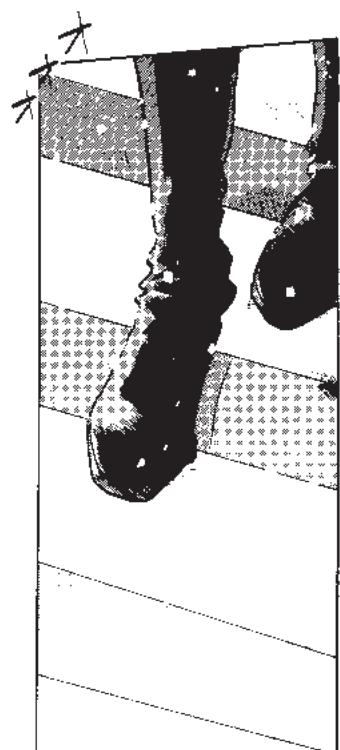


前川紋野 作／中元政弘 画
maekawa ayano & nakamoto masahiro

うわ回じ理由で



色んなことを
諦めてしまつて



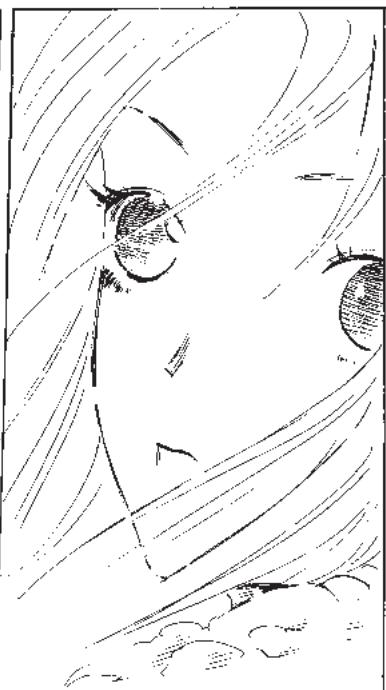
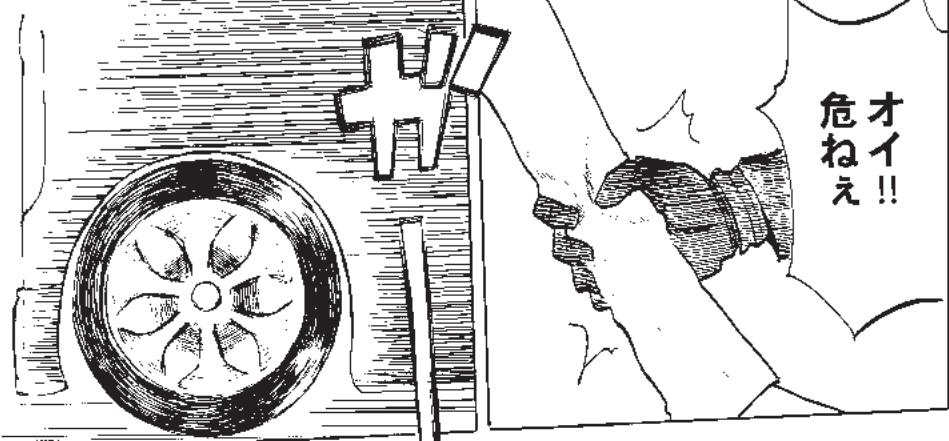


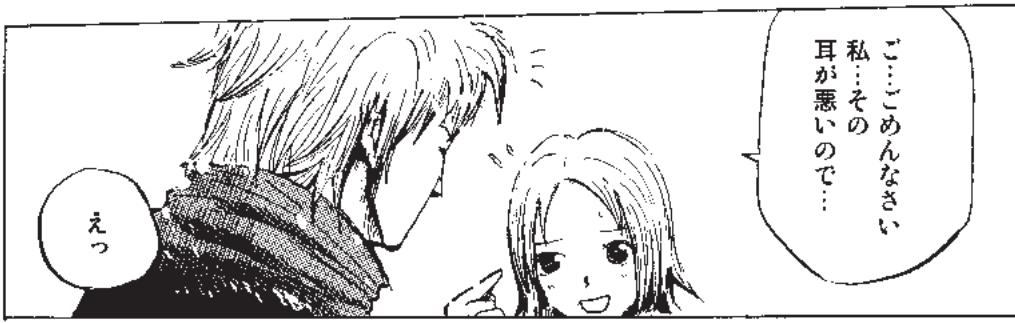
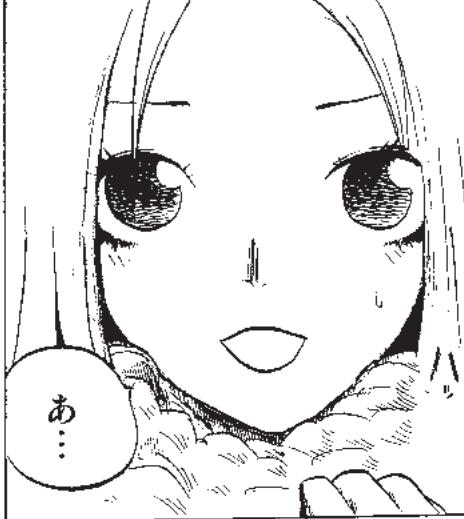
JURI

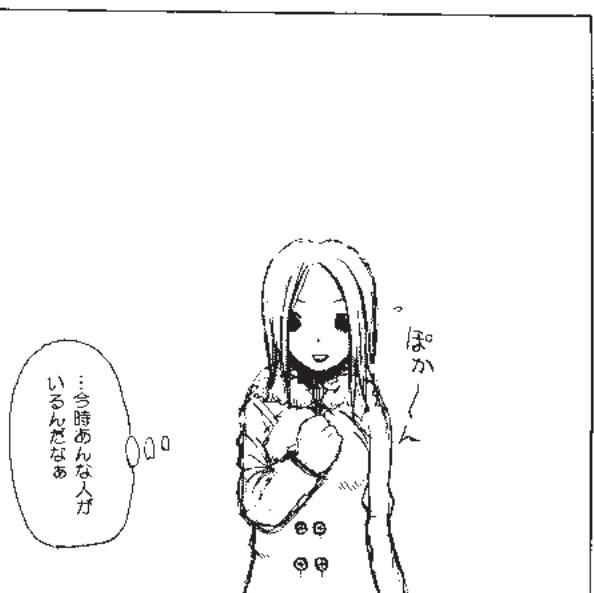
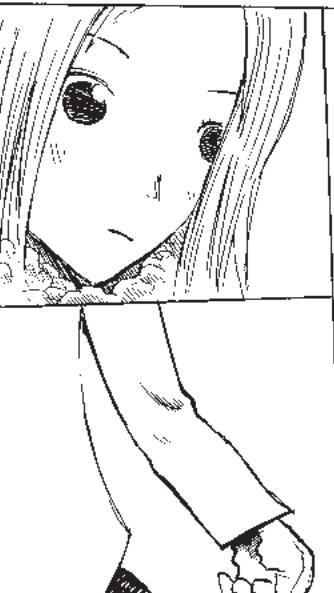
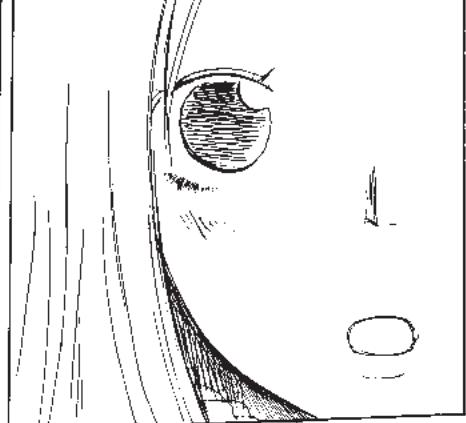
ジュリ

前川紋野 作／中元政弘 画

maekawa ayano & nakamoto masahiro

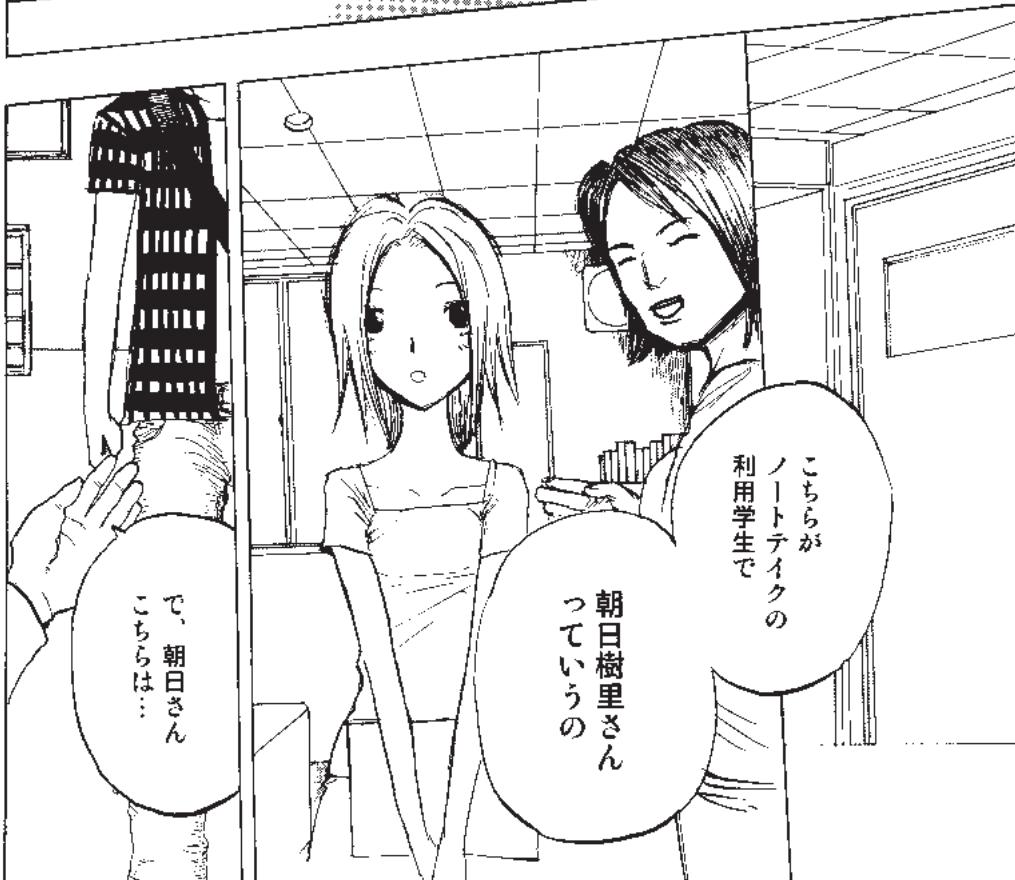






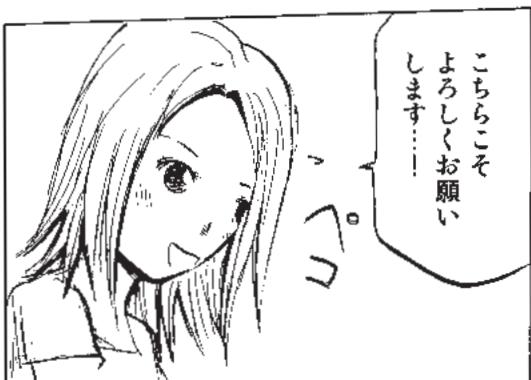
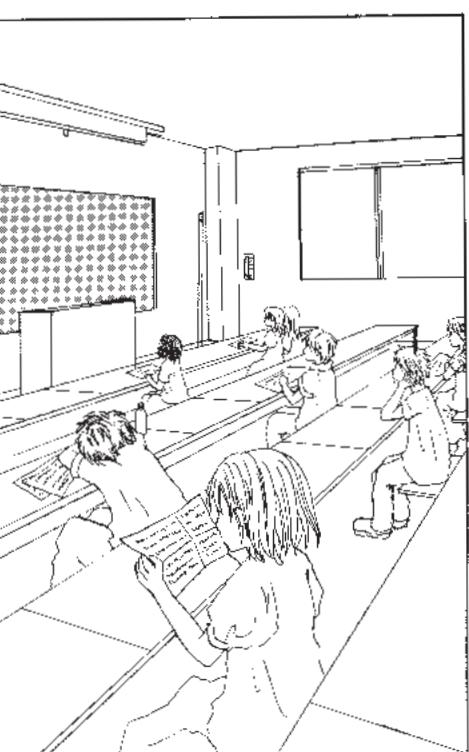
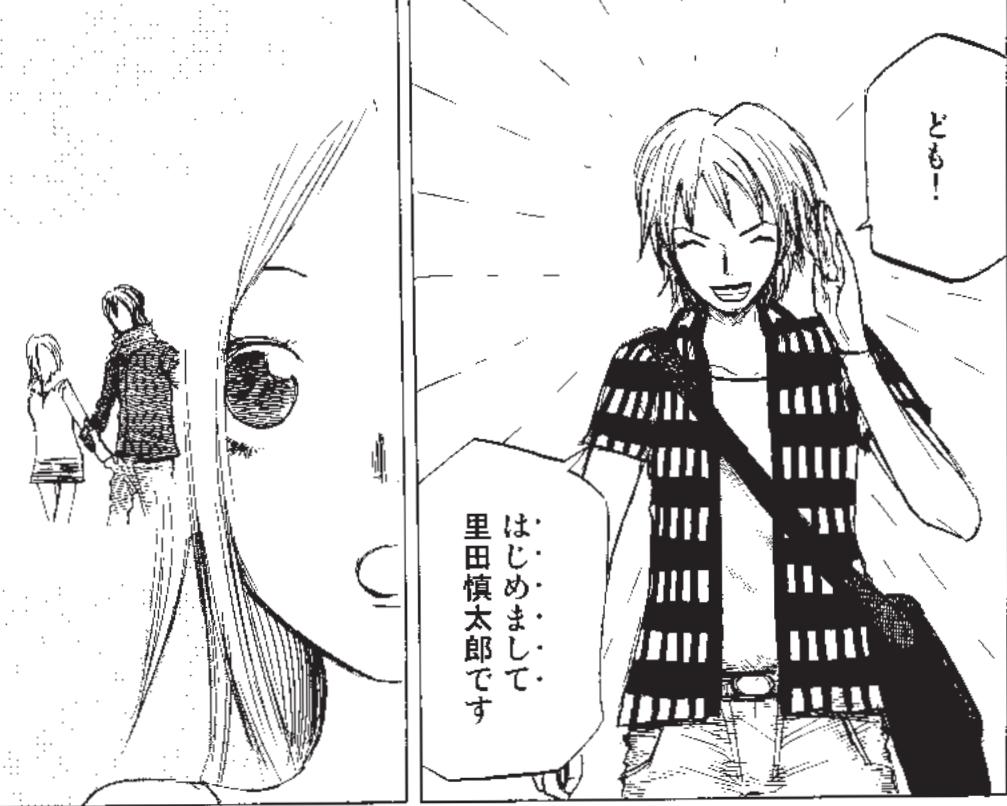


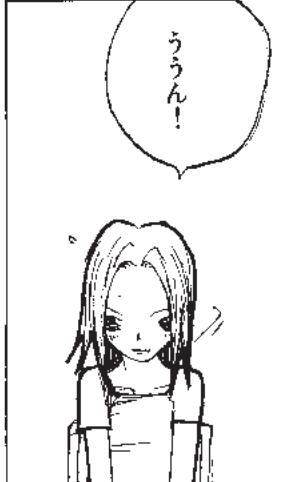
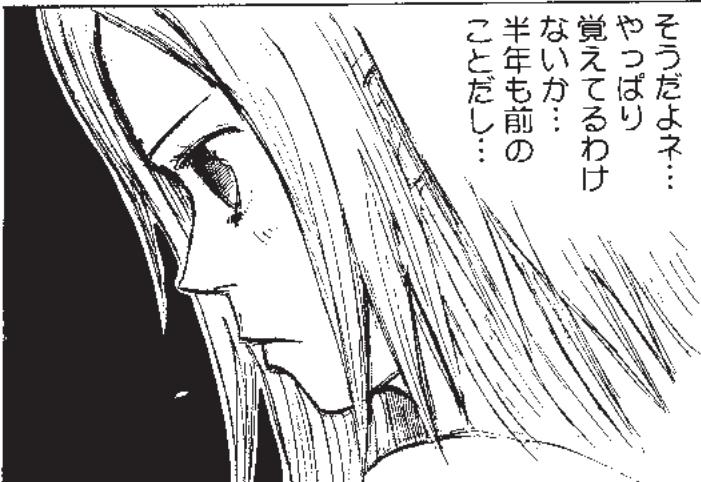
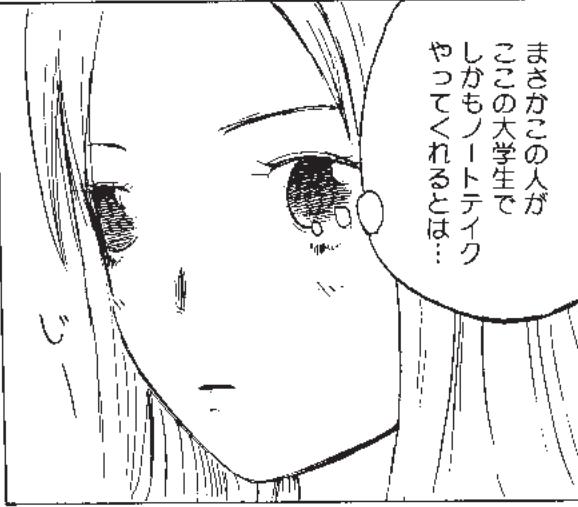
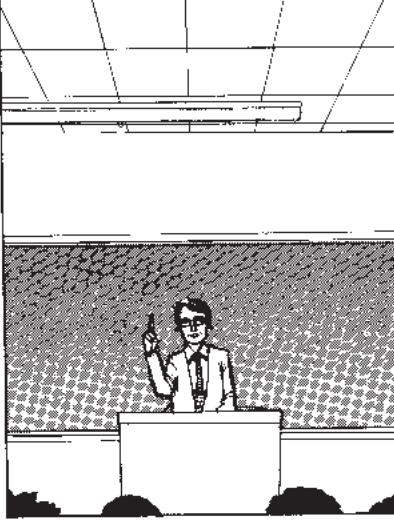
それでも、あの掴まれた腕の
感触が忘れられずにいた。

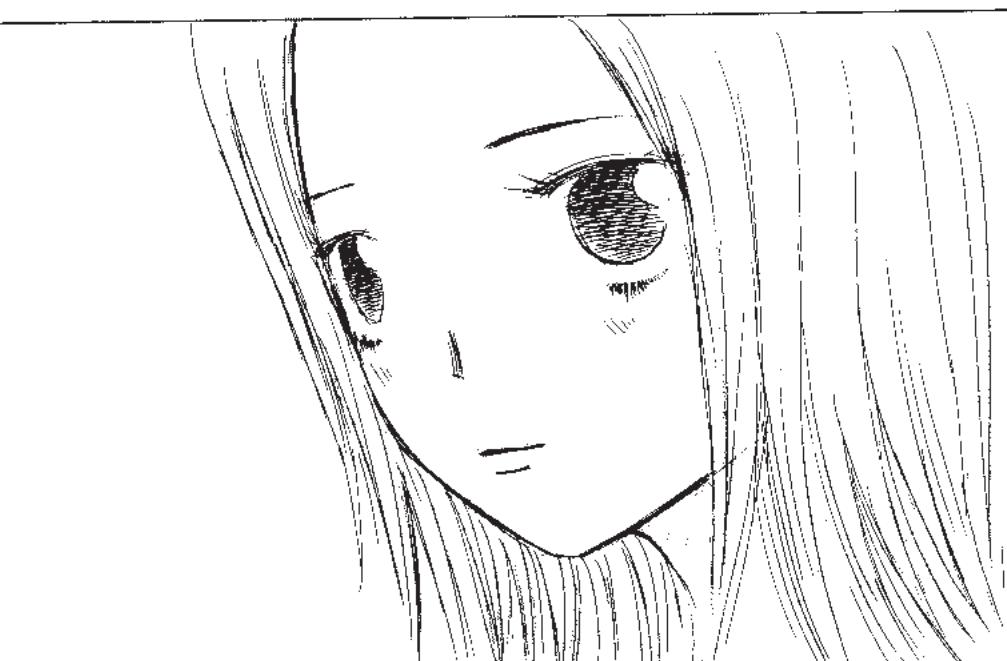
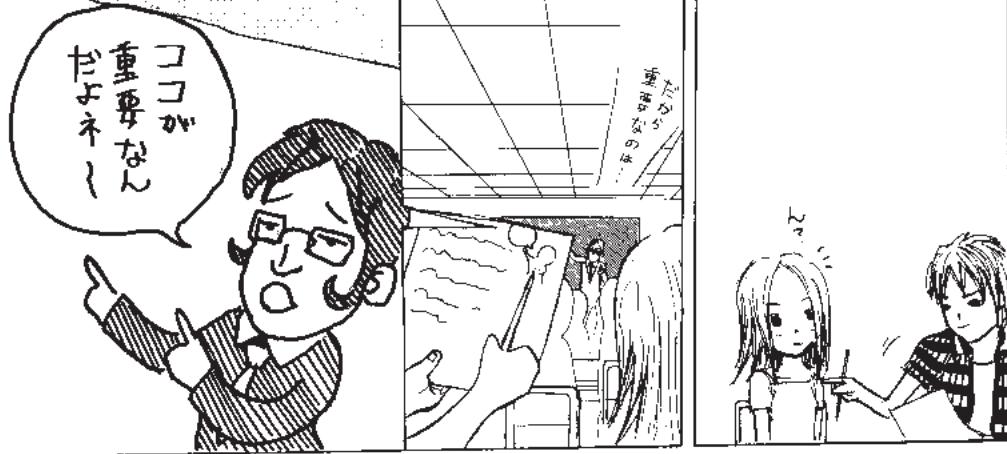


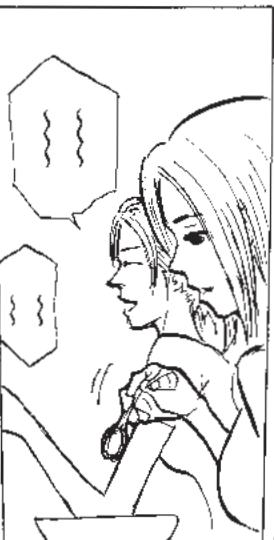
朝日樹里さん
っていうの

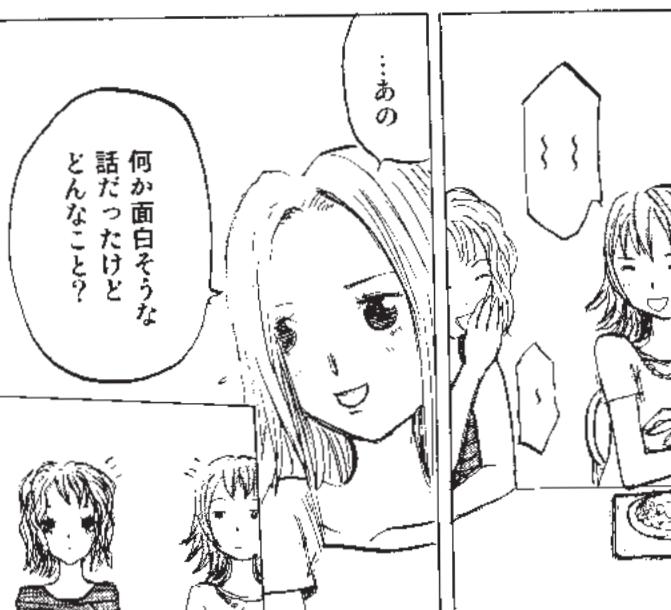
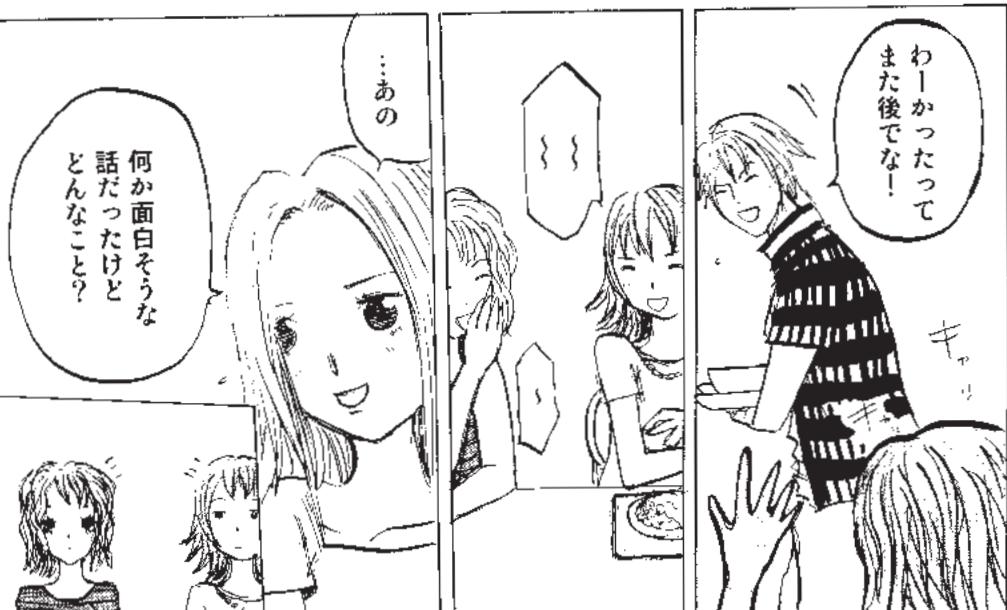
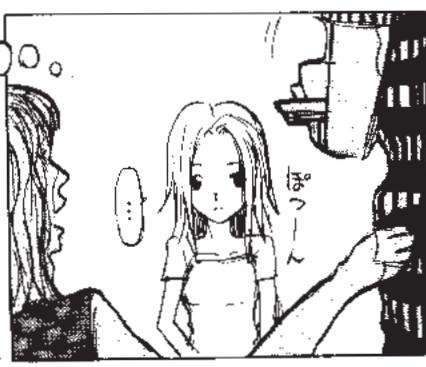
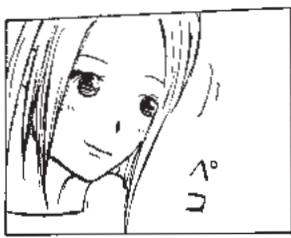
で、朝日さん
こちらは…



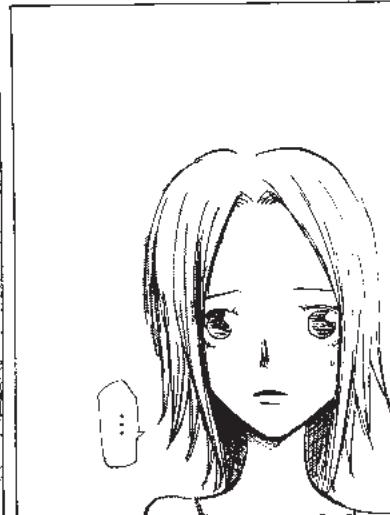
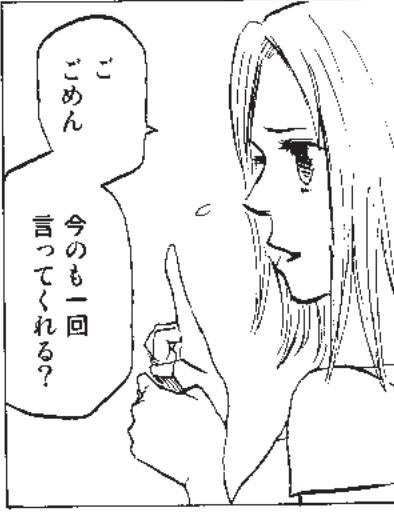
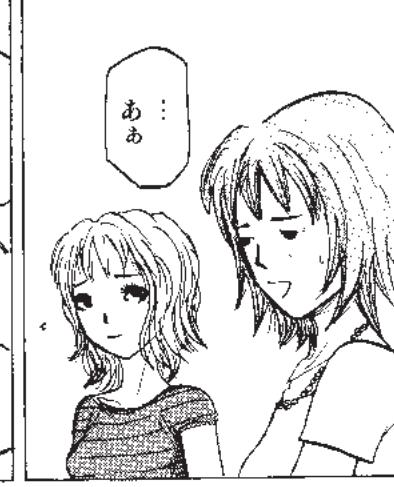
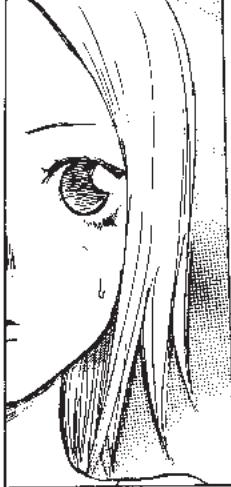








キャリ



今の話は
多分朝日さんには
あまり関係のない
話やし

聞いても
つまんないと
思うよ！

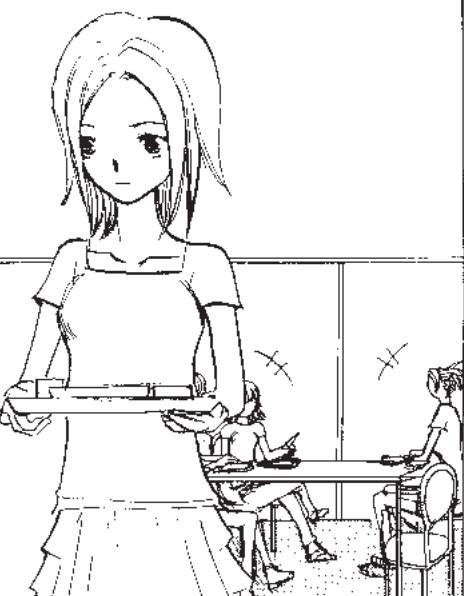
なんか
ゴメンね

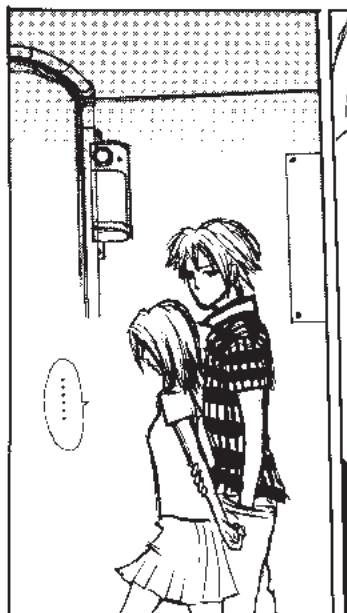
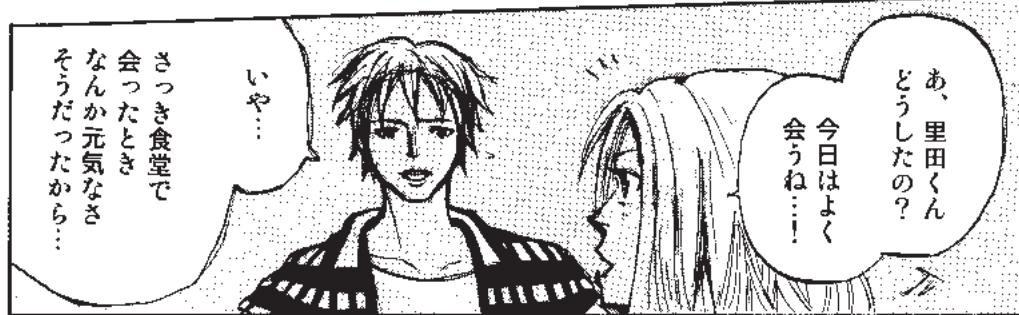
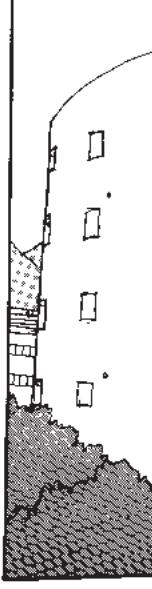
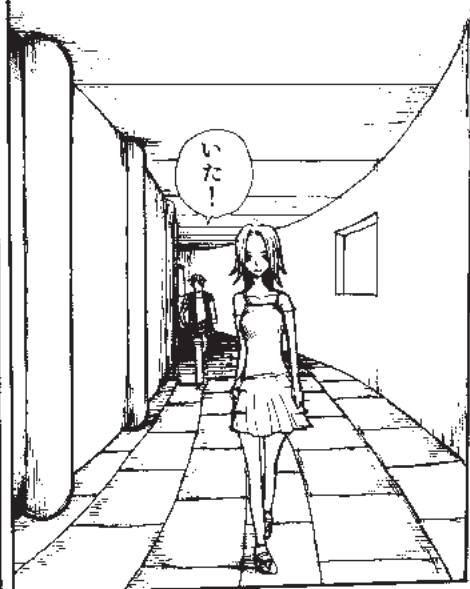
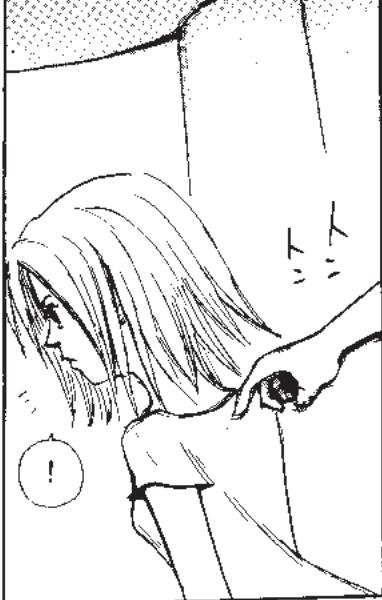
そうだよね……

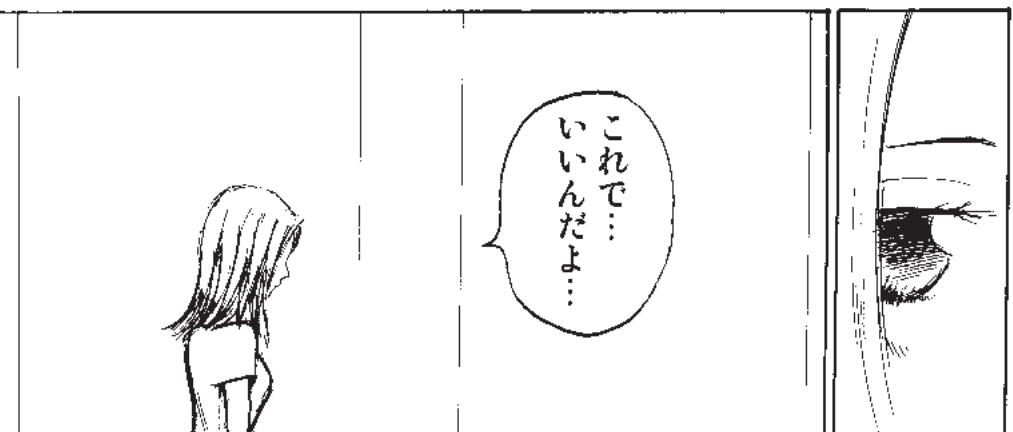
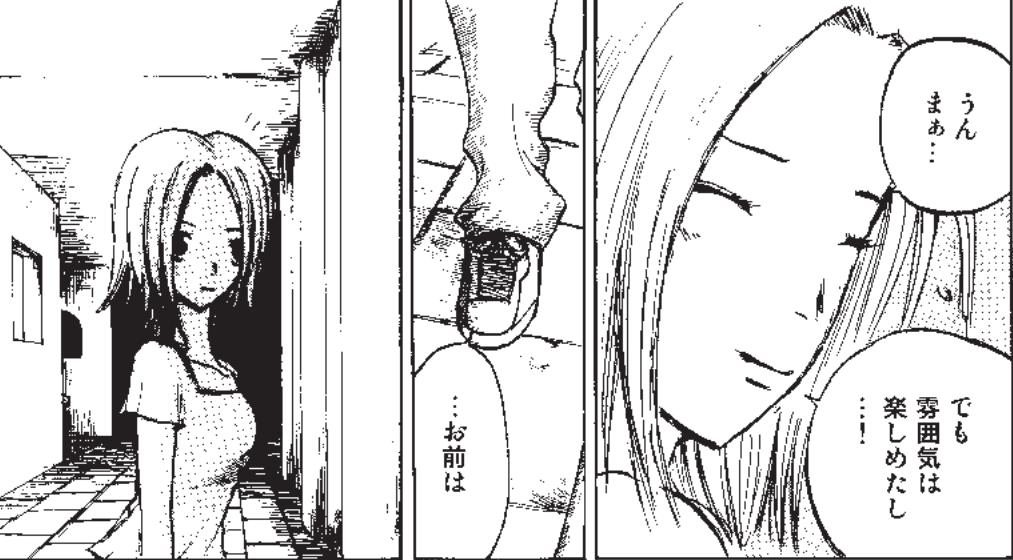
あ……

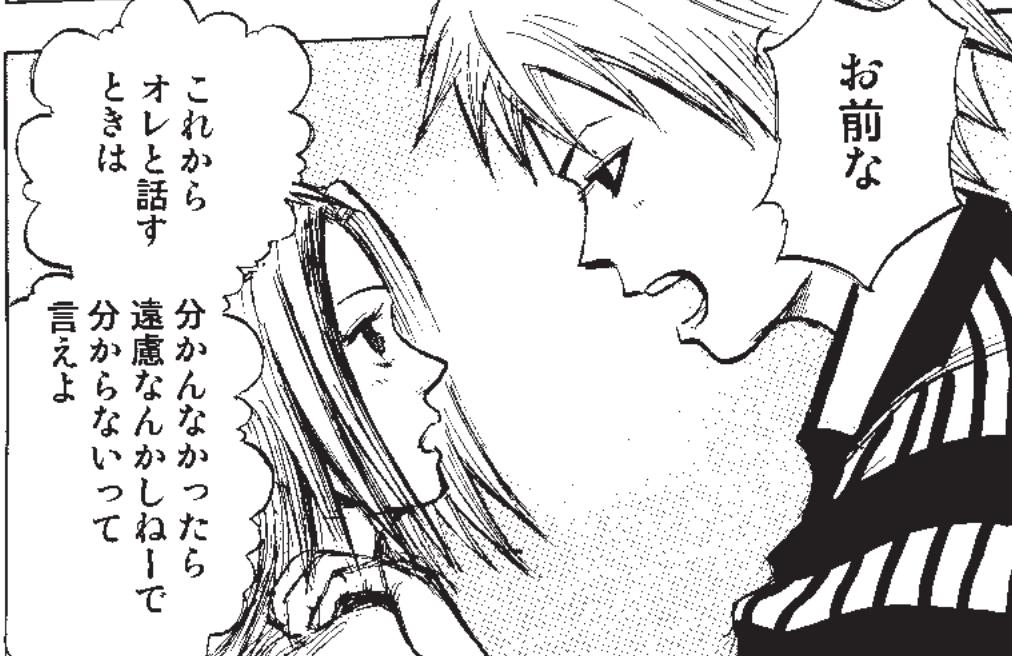
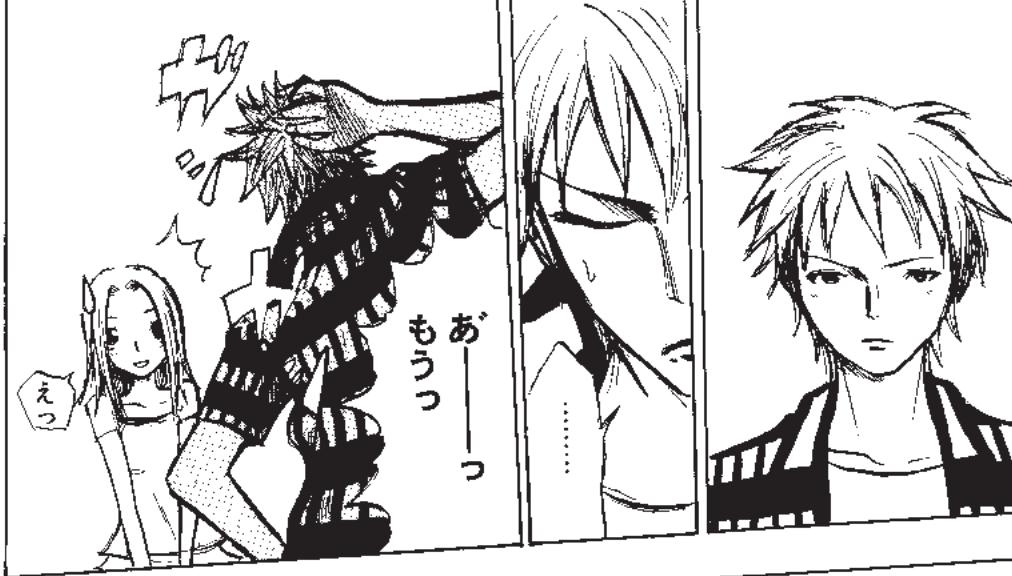
あ、そうだ
私まだレポート
できてないし

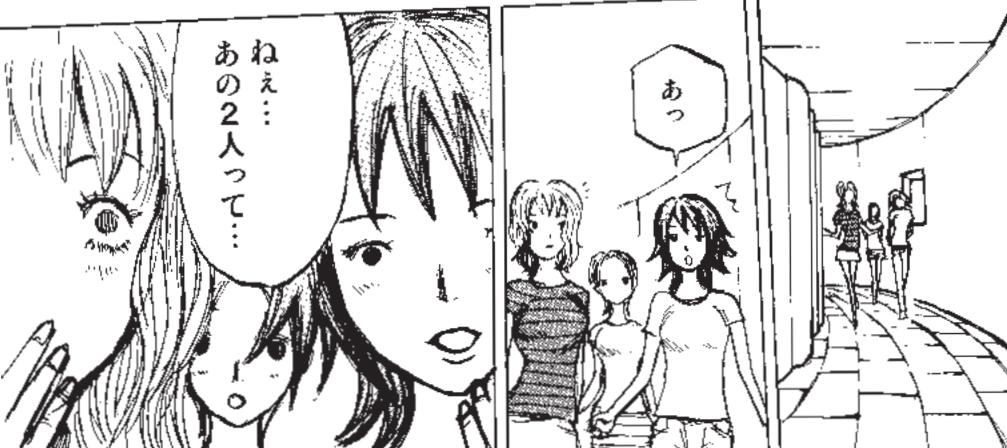
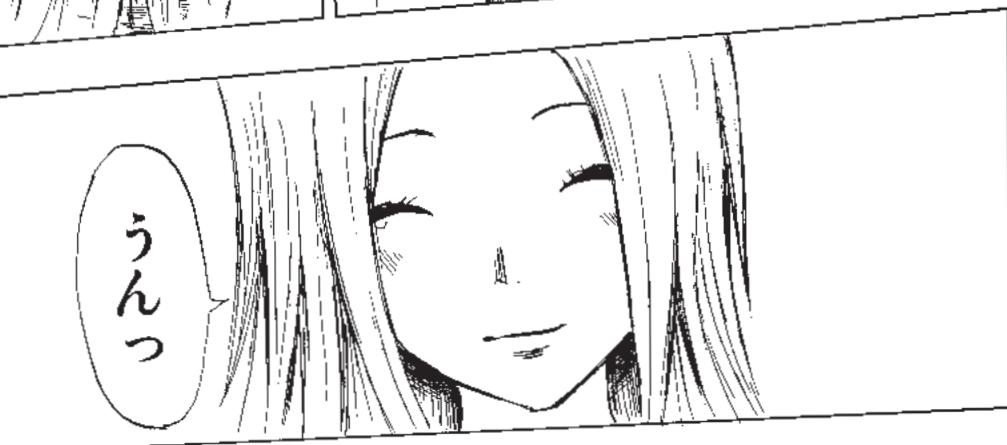
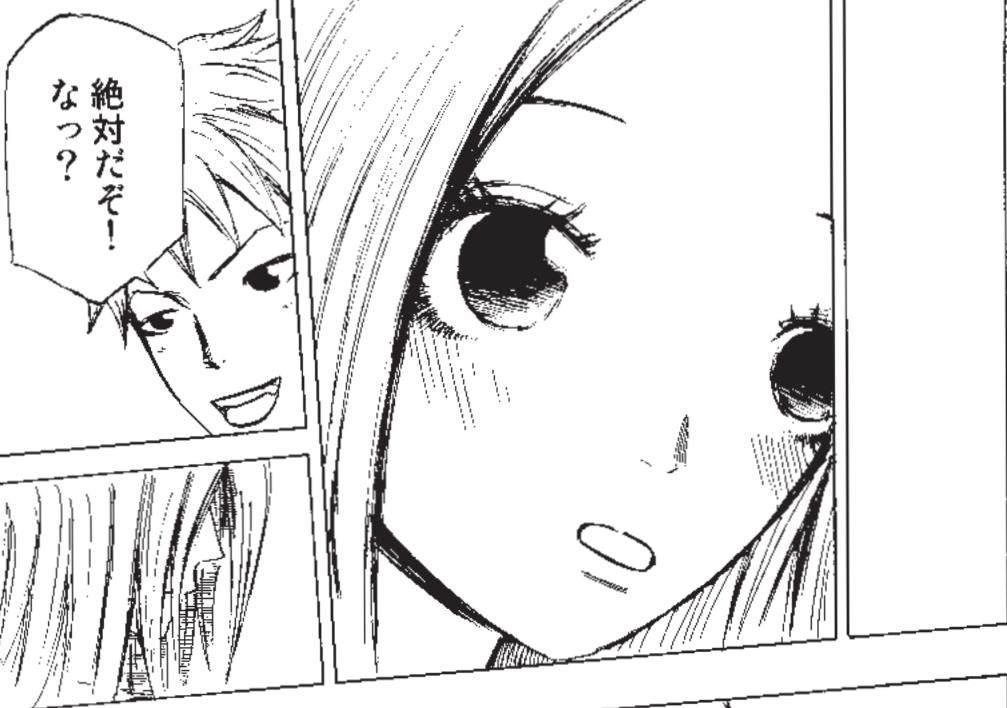
先 図書館
行つてくるね！















「JURI」について

ともに聴覚に障害のある学生が、京都精華大学マンガ学部で出会いました。

聴覚障がい学生が大学生活を過ごす上で、聞こえないことがどういうことなのか、心の思いをみんなに知ってもらいたいと願って、学んできたマンガで表現し、「JURI」を創りました。

原作を書いたのはマンガプロデュース学科の前川さん、作画を担当したのはストーリーマンガ学科の中元さん。企画から発行まで随分と時間がかかりましたが、二人の他にマンガ学部のノートテイク（要約筆記）支援学生と教員等、多くの関係者の協力で出来上がりました。

私達は、「JURI」の打ち合わせを「コラボマンガ」と呼んでいましたが、このことは、障がい学生支援の姿勢と同じものです。

実際に障がい学生をサポートする人は障害への理解が必要ですし、周りの多くの関係者にも障害についての協力があってスムーズな支援に結びつきます。

このような物理的にも精神的にもバリアフリーな環境は、障がい学生だけでなく、キャンパスで過ごす他の学生や多くの人にとっても居心地のいい空間となるはずです。

きっと、あなたも大学で社会で「JURI」に出会うことでしょう。



発行日 2010年3月

原作 前川 紋野 (聽覚障がい学生)
マンガ学部マンガプロデュース学科マンガプロデュース 4年

作画 中元 政弘 (聽覚障がい学生)
マンガ学部マンガ学科ストーリーマンガ 4年

作画協力 川人安菜／重 賢治／宮森千夏
マンガ学部マンガ学科ストーリーマンガ 1年

小林樹里
マンガ学部マンガプロデュース学科マンガプロデュース 2年

編集協力 西田 真二郎
マンガ学部マンガプロデュース学科マンガプロデュース教員

デザイン 山元美乃 (pri graphics inc.)

企画 京都精華大学 学生課障がい学生支援室
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 ☎ 075-702-5268
<http://www.kyoto-seika.ac.jp>

障がい学生支援室より

京都精華大学は、1968年の開学当初から障がい学生を積極的に受け入れ、障害のある・なしに関係なく学生たちが共に学び、育ちっています。

2004年9月に設置された「障がい学生支援室」は、主として障がい学生の授業支援や障がい学生の相談・支援学生・その他ボランティア関連や関係機関等の窓口で、関係組織や担当者と連携を図って、支援の充実を目指しています。

具体的な内容としては、聴覚障がい学生に①ノートテイク（手書きの要約筆記）②ビデオ教材のビデオ字幕制作・ビデオ音声の文字起し ③演習科目の手話通訳 ④パソコンテイク（パソコンを使用した要約筆記）を、視覚障がい学生に①教科書・授業レジュメの点訳 ②ガイドヘルプ ③対面朗読 ④代筆等を行っています。

その他にも、様々な障害のある学生に対して相談や支援に対応しています。

ご質問・ご相談等、気軽に障がい学生支援室へお尋ねください。



京都精華大学
障がい学生支援室

Office for Students with Disabilities,
Kyoto Seika University